

## 2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月10日

上場会社名 ブリッジコンサルティンググループ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9225 URL <http://bridge-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 宮崎 良一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 伊東 心 TEL 03 (6457) 9105  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年9月期第3四半期の業績 (2022年10月1日～2023年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	1,209	—	133	—	129	—	88	—
2022年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	46.56	42.51
2022年9月期第3四半期	—	—

(注) 2022年9月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年9月期第3四半期に係る対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	1,155	871	75.4
2022年9月期	869	621	71.4

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 871百万円 2022年9月期 620百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年9月期の業績予想 (2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,630	28.3	151	57.5	147	54.1	100	55.8	52.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期3Q	2,031,400株	2022年9月期	1,766,400株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	22,200株	2022年9月期	22,200株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期3Q	1,895,921株	2022年9月期3Q	—株

(注) 当社は、2022年9月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(会計方針の変更) .....	5
(セグメント情報等) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大も次第に落ち着きを見せ、社会経済活動の正常化が進み、景気の緩やかな回復が継続しています。一方で、国際情勢による地政学的リスクに伴うエネルギー価格上昇や、世界的な金融引き締めに伴う影響、生活必需品の値上げなど経済活動の動向は極めて不透明な状況が継続しております。

また、高度化・複雑化が増すビジネス環境下において、企業の経営課題は年々増える一方、企業を支える労働力の面では、少子高齢化という社会問題も相まって働き手が不足している状況です。生産年齢人口は減少する一方で、働き方の多様化が進みプロフェッショナル業務のアウトソーシングが拡大しております。

このような状況の中、当社は「幸せの懸け橋に～1人でも多くの人を幸せに導く～」という創業理念のもと、経営管理ナレッジシェアを軸とした「経営管理コンサルティングサービス」、「プロフェッショナル人材の紹介」等、公認会計士人材の経験・知見をデータベース化・最適配分を通じて、経営管理の課題解決を支援するプロシエアリング事業及び付帯関連事業を拡大しております。

当社が運営する公認会計士等のためのワーキングプラットフォーム「会計士.job」では登録者数が2023年6月時点で3,900名を超え、急速に変化する事業環境への対応を背景に成長を志向する企業へのご支援を拡大しております。

各企業ともに慢性的な人材不足の状況であり、上場準備を進めるにあたり管理体制整備のノウハウやリソース不足に陥りやすく、IPO支援、リスクマネジメントサービスを中心に当社の提供する各サービスへの問合せが増加し、支援社数も増加しております。

各サービスへの問合せ対応や将来的な事業拡大のため採用の強化を進めております。また、日本国内におけるスタートアップ企業の成長とIPOならびにM&A業界のさらなる発展を目的にBridgeIPO/M&ACommunityを立ち上げ、HPやメールマガジンでの業界に関する情報発信やオンラインによるピッチイベントの開催など、成長を志向する企業の支援を拡大してまいります。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高1,209,956千円、営業利益133,415千円、経常利益129,744千円、四半期純利益88,279千円となりました。なお、当第3四半期累計期間で発生した上場関連費用は17,230千円であります。

なお、当社はプロシエアリング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は1,155,769千円となり、前事業年度末に比べ285,949千円増加いたしました。流動資産につきましては、1,104,651千円（前事業年度末比283,487千円増）となりました。これは主に、2023年6月26日に東京証券取引所グロース市場へ新規上場したことに伴う、公募による募集株式発行の手取額の入金、及び当第3四半期累計期間に営業活動により資金を獲得したことにより、現金及び預金が258,570千円増加したことによるものです。固定資産につきましては、51,118千円（同2,462千円増）となりました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は284,751千円となり、前事業年度末に比べ36,820千円増加いたしました。流動負債につきましては、262,511千円（前事業年度末比53,500千円増）となりました。これは主に、買掛金が16,694千円増加したこと及び未払法人税等が22,178千円増加したことによるものです。固定負債につきましては、22,240千円（同16,679千円減）となりました。これは長期借入金の返済16,679千円による減少です。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は871,018千円となり、前事業年度末に比べ249,129千円増加いたしました。これは、当第3四半期累計期間において東京証券取引所グロース市場へ新規上場したことに伴う公募による募集株式発行及び新株予約権の行使に際しての払込みにより、資本金及び資本剰余金がそれぞれ80,880千円増加したことに加え、四半期純利益を88,279千円計上したことにより利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2022年11月14日に公表しました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年8月10日）公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	653,951	912,521
売掛金	152,230	178,389
その他	16,412	15,170
貸倒引当金	△1,430	△1,430
流動資産合計	821,164	1,104,651
固定資産		
有形固定資産	11,818	7,373
投資その他の資産	36,837	43,744
固定資産合計	48,655	51,118
資産合計	869,819	1,155,769
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	55,504	72,198
1年内返済予定の長期借入金	23,628	22,239
未払法人税等	3,279	25,458
賞与引当金	46,311	21,174
その他	80,285	121,439
流動負債合計	209,010	262,511
固定負債		
長期借入金	38,920	22,240
固定負債合計	38,920	22,240
負債合計	247,930	284,751
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	180,880
資本剰余金	264,489	345,370
利益剰余金	256,709	344,988
自己株式	△222	△222
株主資本合計	620,977	871,018
新株予約権	911	—
純資産合計	621,889	871,018
負債純資産合計	869,819	1,155,769

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,209,956
売上原価	530,686
売上総利益	679,270
販売費及び一般管理費	545,855
営業利益	133,415
営業外収益	
受取利息	3
受取利子補給	50
雑収入	24
その他	20
営業外収益合計	98
営業外費用	
支払利息	233
株式交付費	3,535
営業外費用合計	3,769
経常利益	129,744
税引前四半期純利益	129,744
法人税、住民税及び事業税	33,372
法人税等調整額	8,092
法人税等合計	41,465
四半期純利益	88,279

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月26日における東京証券取引所グロース市場への株式上場にあたり実施した公募増資により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ59,800千円増加しております。この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が180,880千円、資本剰余金が345,370千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当第3四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

当社は、プロシエアリング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。